

2024 年度
第 85 回全日本女子ホッケー選手権大会出場プレーオフ 実施要項

2024 年 10 月 1 日

1. 大会名 2024 年度 全日本女子ホッケー選手権大会出場プレーオフ
2. 共 催 (公社)日本ホッケー協会、日本社会人ホッケー連盟
3. 主 管 岡山県ホッケー協会
4. 期 日 2024 年 11 月 2 日 (土) ～3 日 (日)
5. 会 場 赤磐市熊山運動公園多目的広場
〒709-0704 岡山県赤磐市沢原 1307
6. 参加資格 (1) 第 1 回社会人女子プレミアムカップの第 4 位および第 5 位のチーム、女子第 46 回全日本社会人ホッケー選手権大会の上位 2 チームとする。
(2) 監督は、(公財)日本スポーツ協会の「コーチ 3 (ホッケー)」以上の資格を有していること。
7. 参加人員 チームスタッフ 5 名以内 (監督 1 名、コーチ 1 名、フィジオセラピスト・ドクター各 1 名 (または手当者 2 名)・その他のチームスタッフ 1 名)、選手 30 名以内の合計 35 名以内とする。なお、ベンチに入る選手は 18 名以内、チームスタッフ 5 名以内の合計 23 名以内とする。
8. 参加申込 (1) 別紙参加申込書に必要事項を記入のうえ、必ずメールにより、送付先《A・B・C》宛に同時送信すること。
・《A》(公社)日本ホッケー協会 TEL03-6812-9200 メール info@japan-hockey.org
・《B》日本社会人ホッケー連盟 TEL090-2063-9335 メール VEN13412@nifty.com
・《C》岡山県ホッケー協会 メール okahockey@gmail.com
(2) プログラムは作成しない。
(3) 参加申し込み後のチームスタッフ・選手の変更・追加は認めない。
9. 申込期限 2024 年 10 月 4 日 (金) 午後 5 時 厳守
10. 参加料 参加料は徴収しない。
11. 競技規則 2024 年度(公社)日本ホッケー協会競技規則、競技運営規程、レギュレーション及び有効な通達事項に則り行われる。
12. 試合方法 (1) トーナメント方式により優勝チームを決定する。優勝チームが日本社会人連盟の推薦 (社会人枠第 4 位) により、第 85 回全日本女子ホッケー選手権大会の出場権を獲得する。
(2) 組合せ
1 回戦 第 1 試合 全日本社会人大会 2 位 対 プレミアムカップ 4 位
第 2 試合 プレミアムカップ 5 位 対 全日本社会人大会 1 位
決勝戦 第 1 試合勝者 対 第 2 試合勝者

- (3) その他 ・試合は、15分／1ピリオドの4クォーター・ストップ制で行う。
・PC取得時は試合時間を停止するが、得点後は時間停止をしない。
・同点の場合は、S0戦規定により勝敗を決定する。
・リファール権制度は適用しない。

13. 競技日程 1日目（1回戦） 第1試合 13時00分 第2試合 15時00分
2日目（決勝戦） 11時00分

14. 代表者会議等 開閉会式および代表者会議は開催しない。
ただし、各チームにブリーフィングを配付する。

15. 表彰規定 優勝チームに、「出場権獲得証」を授与する。

16. その他
- (1) 選手の背番号は1番から99番とし、参加申込後の背番号変更は認めない。
 - (2) 試合に出場する選手については、申込をされた選手の中から18名（以内）の選手を選びスターティングリストに記載すること。試合毎にベンチ入りの18名（以内）を選択することができる。
 - (3) スターティングリストは、メール送信で行う。
E-mail送付先：okahockey@gmail.com（メール受付担当者；東原 宏明）
 - (4) 競技役員等から、JHA登録（会員証）の提示要請があった場合は、応じるよう、常に携行すること。
 - (5) 選手は健康保険証を必ず携帯すること。万一負傷等の事故があった場合、応急処置はするが、その後の治療は参加選手自身と各チームの責任において行うこと。選手の健康管理は各チームで徹底すること。
 - (6) 参加に伴うチームの移動については、チームの責任において行うこと。
 - (7) 監督、選手、コーチ、手当者の兼任の徹底について、2021年6月24日付であったJHA競技運営部からの通知を厳守すること。
 - (8) TDにより出場停止処分を受けた場合には、次試合以降のスターティングリストに（S）と記入しなければならない。その際、ベンチに入る人数は削減される。
 - (9) 選手の安全面を考える上で、登録選手全員にマウスガードを着用させなければならない。マウスガードを着用できない場合は、その理由を書面にて（マウスガード未装着届）参加申込書と同様にe-mailで提出しなければならない。また、ゴールキーパーのマウスガードの着用は強制しない。
 - (10) すべての参加者（チーム、競技役員、プレーオフ関係者）は、（公社）日本ホッケー協会および日本アンチ・ドーピング機構が定める諸規程を熟読し、その内容に同意の上、「行動規範確認書」を提出したものとみなします。規程に違反した場合、協会および機構が定める処分を受けることがあります。参加者は、自己の言動について全責任を負うものとします。
 - (11) 大会試合球については、Kookaburra Sport Pty Ltd. 製造「KookaburraDimple Elite」を使用する。
 - (12) 荒天またはフィールド状態不良時には、試合時間・会場の変更はありえるが会期の延長は行わない。特に、雷鳴・雷注意報等により、試合の緊急中断等の処置をする場合がある。その判断はTDが行う。
 - (13) 不測の事態が発生した場合には、TD、日本社会人ホッケー連盟、および関係機関が協議し対応する。